



# まいのは

令和8年5月27日  
小田原市立新玉小学校

学校教育目標「心豊かな未来を創る 子どもの育成」

## ～職員研修

### その1～

あらたまの  
「教育漫才」を  
成功させよう！



5月21日に元埼玉県公立小学校長の田畑栄一先生をお招きし、職員研修を行いました。本校のめざす学校の姿である「あたたかな笑顔あふれる新玉小」を具現化させる手立ての一つとして取り組む「教育漫才」を学ぶためです。このねらいを全職員で十分に理解し、児童に向き合い、指導していくために毎年、この時期に研修を行っています。

今回、田畑先生から新たに「教育漫才の六つの効果」という話をうかがいました。①表現力・プレゼン力 ②コミュニケーション力 ③課題解決力 ④学習内容の定着・語彙力 ⑤人間関係の拡大 ⑥学級の雰囲気改善です。本校は小規模校であり、6年間クラス替えがないため、どちらかという人間関係が固定しがちです。そこで、⑤にあるように豊かな人との関わりを育むため、学年を解体し低・中・高学年で「ペア」や「トリオ」を組むことにしました。

6月20日の土曜参観では、昨年度同様、保護者の皆様に披露します。子どもたちの「あたたかな笑い」をどうぞ、ご期待ください。



## ～職員研修

### その2～

「主体的・対話的で  
深い学びを生み出す  
授業の創造」

5月22日は、小田原市教育委員会の上條大志指導主事をお招きし、算数科の校内研究にかかわる講話をいただきました。今年度から、めざす子どもの姿に「ねばり強く取り組む子」を掲げたことは前回の「まいのは」でもお伝えした通りです。毎年、6年生と中学3年を対象に行われる「全国学力・学習状況調査」の分析結果を見ると、点数はとれているにもかかわらず「算数の勉強は将来、役に立つ」「算数の勉強は得意」と思えない児童が一定数、存在します。

上條先生によると、これは、「算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う」という学習指導要領にある算数科の目標が児童に十分に浸透していない、ということであり、算数が日常的に使えることや生活に生かすという欲求をもっと満たす必要がある、とのことでした。児童の経験に基づいた場面や興味ある題材の選択、具体物を用いるなど、課題解決のための学びの場づくりをしながら、授業力向上に励んでいきます。

## 日光修学旅行に行ってきました！！

5月14日（木）から15日（金）の1泊2日、6年生全員参加で日光修学旅行へ行ってきました。

1日目、天気は曇り空でした。ギリギリ「傘いらず」のなか、行程を進めることができました。午後4時になると水門が閉められてしまい水量が減るとのことで、まずは「華厳の滝」に向かいました。以前は「滝しぶき」を浴びることができた「華厳の滝」も近年は勢いがありません。それでも高さ97メートルの岸壁から落ちる滝の姿は圧巻です。日光の人工美を堪能することができました。その後、「足尾銅山観光」の見学です。トロッコに乗車して、坑内入口まで移動しました。坑内は、当時の写真や人形があり、ボタンを押して解説を聞いたり、人形の動きで当時の様子を再現したりします。とても豊かな学びの時間となりました。

2日目は輪王寺、東照宮を見学してから、二荒山神社・大猷院を拝観しました。この日は晴天に恵まれ、陽明門をバックに集合写真を撮影しました。大混雑の中で聞いた「鳴き竜」の音。あまりの小ささに驚いた「三猿」や「眠り猫」など、歴史的建造物に触れる貴重な機会となりました。

また、電車の中や旅館で友達と語り合った時間も大切な思い出になったことでしょう。何事もなく元気に小田原に戻りました。学校ホームページでも修学旅行の様子をアップしましたので、ご覧ください。

雄大な  
華厳の滝



「足尾銅山観光」  
にて見学



## お知らせとお願い

○前期教材費の口座引き落としがあります。6月25日が初回、引き落とし日となります。口座残高の確認をお願いします。（6月12日に各担任から出される「教材費集金のお知らせ」をお読みください。）